科目ナンバリング	U-LAS40 10006 LJ26

授業科目名 <英訳>	健康心理学II Health Psychology II	担当者所属 職名・氏名	医学研究科　教授　千葉　理恵 医学研究科　教授　稲富　宏之(イナドミ ヒロユキ) 医学研究科　教授　古田　真里枝 医学研究科　教授　澤本　伸克 医学研究科　准教授　小島　諒介 医学研究科　講師　大滝　千文 医学研究科　准教授　義村　さや香 非常勤講師　名取　琢自 医学部　特定助教　大塚　貞男

群	健康・スポーツ科目群	分野(分類)	健康・スポーツ科学(基礎)	使用言語	日本語

旧群	D群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）

開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	木2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

この授業では、わたしたちをとりまく日常生活に大きな割合を占める、“こころ”“からだ”の諸問題を健康心理学の視点から取り扱う。近代医学が置き去りにしてきた、臨床の場の重要さを視野に入れて、人間を健康科学の視点で解釈しようとするものである。

[到達目標]

・個人と社会の健康維持・向上、疾病予防と治療に係わる健康心理学の基本理念、概念と学問体系について理解できる。
・人々の心因性疾患、災害・事故などと関連した心因反応、社会適応や家庭の問題
　などを具体的な事例を通して理解できる。
・心身の健康要素について理解できる。

[授業計画と内容]

(1) 4/11 オリエンテーション・メンタルヘルス（千葉）
(2) 4/18 健康心理学総論（古田）
(3) 4/25 トラウマとPTSD（天野）
(4) 5/9 心理臨床とカウンセリング（名取）
(5) 5/16 周産期メンタルヘルス1（大滝）
(6) 5/23 ポジティブ心理学（千葉）
(7) 5/30 健康増進とリハビリテーション（稲富）
(8) 6/6 人工知能・機械学習技術のヘルスサイエンスへの応用（小島）
(9) 6/13 周産期メンタルヘルス2（大滝）
(10) 6/20 こころの働きの回復と認知リハビリテーション（大塚）
(11) 6/27 発達症とは：自閉スペクトラム症を中心に（義村）
(12) 7/4 脳機能と心理学（澤本）
(13) 7/11 心理療法における「夢」（名取）
(14) 7/18 イメージとの対話(描画療法・箱庭療法) （名取）
(15) 7/25 レポート
(16) 8/1　フィードバック

健康心理学II(2)へ続く↓↓↓

健康心理学II(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

2/3以上の出席を前提として、授業中のミニレポート60%、期末レポート40%で合計し素点に基づき評価します。

[教科書]

授業資料はテーマごとにPandAにアップロードするので、各自ダウンロードをすること。

[参考書等]

（参考書）
菅佐和子, 他 『健康心理学 第2版』（丸善出版）ISBN:978-4-621-08020-7

[授業外学修（予習・復習）等]

予習として、講義テーマに関連した情報、書籍、ニュース等に関心をもって幅広く知識を得ておくこと。
復習として、各回の講義において担当教員から参考図書として提示された書籍を読んで講義内容と統合し、知識の定着を図ること。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]